



ご協力ありがとうございました！

9,960,574箱が100ヶ国以上へ

OPERATION CHRISTMAS CHILD

Thank You!

2012年からはじまったオペレーションクリスマスチャイルド(OCC)。今年2013年は昨年のおよそ2倍の7,307箱が贈られました！皆様のご協力と心意を心より感謝いたします!! 今年もプレゼントはフィリピンの子供達に贈られました。2013年に10カ国合わせて集められた箱はなんと1,000万箱近くになりました！クリスマスから今年初頭にかけて、プレゼントは配られていき、同時にバイブルスタディも各地で始まっていきます。



昨年11月、フィリピンは史上最大規模の台風に見舞われました。サマリタンズ・パースは24時間以内に専門家達を派遣し、現在も救援活動が続けられています。現在行っているプロジェクトは、1)緊急援助支援物資の配布、2)水供給所の設置、3)医療チームの派遣ですが、今後長期に渡って仮設建設などのプロジェクトも行っていく予定です。アップデートはホームページから

ご覧いただけます。

フィリピンでは計50万箱のシューボックスが配布される予定です。

箱を受け取る子供達の人生に神様の守りと祝福があるように、イエス様にある永遠の希望を知ることができるよう、お祈りください。

2014年

今年3年目になるオペレーション・クリスマス・チャイルド。ますます多くの方々に働きを知っていただき、より多くのシューボックスを贈り届けたいと願っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。



コネクトボランティア

OCCでは、今年後半になって「コネクトボランティア」を限定的に募集しました。コネクトボランティアは年間通してプロモーション活動などをしてくださるボランティアの方々のことで、OCCの働きに欠かせない存在です。コネクトボランティアは地域教会の先生の推薦が必要になります。

及川りつこさんは大阪出身です。イギリス滞在中からOCCに興味を持っていた彼女は、ボランティアになることをいち早く名乗り出てくれ、昨年に引き続き、今年も大阪からプロセシングにも来てくれました。今年、より多くの年間ボランティアを募って行く予定です。

プロセシングウィーク

シューボックスが集荷センターに集められると、即座に検品作業が始まります。税関でひっかかったり、また液体容器などが壊れて箱を駄目にしないよう、1箱ずつ丁寧に確認していきます。今年は、大阪、東京などからもボランティアが来られました。また石巻市など震災を通して関わりが出来た方々も、たくさんお手伝いに来てくれました。



瓦礫の中からのクリスマス

台風被災地のバンタヤン島にあるバイブルバプテストチャーチからのレポートです

フィリピンでは、クリスマスは9月から始まり翌年2月ぐらいまで続きます。国中の家庭や街でクリスマスの飾りつけがなされ、イルミネーションが輝きます。しかし、ここバンタヤン島では、史上最大といわれる台風が島を八つ裂きにし、島全体が壊滅的な被害を受けました。クリスマスライトは、もはや灯されることもなく、ただ淋しくぶら下がるだけです。根こそぎ倒された家屋の、木片やトタンが、あちこちに山積みになっています。

しかし、シューボックスから希望のしるしがやってきました。玩具やキャンディーなどが詰め込まれた65,000箱のシューボックスが、この被災地に飛行機で運ばれたのです。

台風ハイヤンは、マドリデーゾ地域のコミュニティーを見分けもつかないような瓦礫の山へと一変させてしまいました。教会の建物は倒れてはいないのですが、骨組みだけが淋しく残っている状態です。

しかし、クリスマス前に持たれたOCCシューボックスの配布時には、そんな教会からも確実に息づくエネルギーを感じることができました。そのエネルギーは、2歳から14歳までの83人の子供達から溢れてくる期待感でした。子供達は首を伸ばして、ステージのほうにかぶっている緑のビニールシートの存在に興味を示し、そわそわしていました。

この配布のために、教会員の方々が1件1件子供達を訪問し、スペシャルイベントに招待しました。彼ら全員が、台風で家屋を失っていて、わずかな所有物と一緒にクリスマスもなくなってしまったと感じていた頃でした。

子供達が知らされていなかったのは、そのビニールシートの下に83箱のおもちゃやキャンディーが詰まったシューボックスが隠されていて、スペシャルなクリスマスの思い出が彼らを待っていたことでした。



子供達は歌い、福音を聞きました。そして牧師はこういいました。「今日はみんなにサプライズがあるよ。」彼女は後ろを向き、そのビニールシートをばあっと取りのけました。

その部屋は喜びの声で湧きました。子供達は隣のお友達に抱きついたり、飛び跳ねたり、自分の手にも渡されるであろうプレゼントを指差したりしていました。ついてきた大人たちもまったく知らされていなかったの、笑顔で子供達を見ていました。こんなに嬉しそうな顔は久しぶりだと言っていました。

このプレゼントは、聖書で救い主の誕生について記述されている箇所を思い起こさせます。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです（ルカ2章10節）」

フィリピンでOCCのシューボックスを受け取っていく子供達一人ひとりのためにお祈り下さい。彼らが大きな喜びに包まれるように。将来への不安をひととき忘れて、シンプルに子供らしくはしゃぐことができるように。被災経験によって彼らの心が折られず、人生を前に進んでいけるように。シンプルなシューボックスが子供達の心を開いて、最高のギフトであるイエス・キリストが、彼らを心から愛していることを知ることができるように。